



TECHNICAL NOTE

No:TN641

March 2025

SD12 **V2025 へのアップグレード方法**

下記内容は SD12 コンソールを 最新リリースバージョンへ更新する手順です。

V2025 は V1926 に代わる最新版です。

SD12 を V1069 以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードする場合、上記以外のアップデートも必要となります。細心の注意を払い、下記の指示に従いながらアップデート作業を行ってください。

SD12-96 アップグレードは有償ソフトウェアになります。購入する際は下記 URL にアクセスしてください。www.digico.biz。またご購入の代理店、担当者にご相談ください。日本ではヒビノインターサウンド株式会社から入手が可能です。

万が一、シリアルデバイスのいずれかが正しく更新されない場合は、ICD2 プログラマーを使用してそれらを再プログラミングする必要があります。詳細については、ヒビノインターサウンド株式会社にお問い合わせください。

必要なファームウェアのアップグレードは次のページの表のとおりです。

**これらのアップグレード作業を行う際は、予想外の障害や不具合を考慮し、
仮設現場での作業、特に当日に本番がある場合は
別の機会に作業することを強くお奨めします。**

**また仮設・常設を問わず、時間が十分に用意出来ない場合も同様に
別の機会に作業することをお奨めします。**

今回のアップデート完了後のバージョンとコードは以下のように表示されます。

	Version 1926	Version 2025
Software	19.0.1926	20.0.2025
Worksurfaces	47	47
Local I/O	57	57
GPIO - SD12GPIO.hex	10	10
Engine: HOST - sp6v.bin	05/11/2021	05/11/2021
Engine: FPGA - sp6e.bit	29/01/2013	29/01/2013
Engine : Effects	18/04/2012	18/04/2012
Vulcan Host - VulcanTiva.dfu	27	27
Vulcan FPGA - Vulcan_Interface_FPGA.bit	22/02/2017	22/02/2017
USB Audio - XMOS.bin	03/10/2016	03/10/2016
D-Rack: Drack8b.bin	10/12/2014	10/12/2014
D-Rack : Drack8b.bit	28/08/2023	28/08/2023
D2-Rack: D2rack.bin	03/11/2017	03/11/2017
D2-Rack:D2rack.bit	28/08/2023	28/08/2023
SD-Rack: Rack8b.bin	21/09/2016	21/09/2016
SD-Rack : Rack8b.bit	05/07/2012	05/07/2012
Optocore V221 Firmware	V5R3	V5R3

このアップグレードを実施する際は、コンソールのローカル I/O、ラックおよびヘッドホンアウト端子にケーブルが接続されていない状態で行ってください。コンソールを立ち上げたら Quit to Windows ボタンから Windows 画面を立ち上げて、以下の手順に従い作業してください。

1. Software Updater **SD12_V2025z Updater.exe** を DiGiCo コンソールに付属している USB キーにコピーし、SD10RE サーフフェイス上の USB ソケットに挿入します。
2. **Start メニュー** を右クリックして、**DiGiCo (D:)** を選択します。接続した USB キーに移動し、USB キーから **SD12_V2025z Updater.exe** を実行すると、必要なアップデート、アプリケーションソフトウェア、および現在の SD12 アプリケーションフォルダーのバックアップのインストールが開始されます。
3. **UpdateHardware** アプリケーションが自動的に実行されます。デバイスごとに、現在実行中のバージョンが「running」の列に表示され、新しいバージョンが「available」列に表示されます。

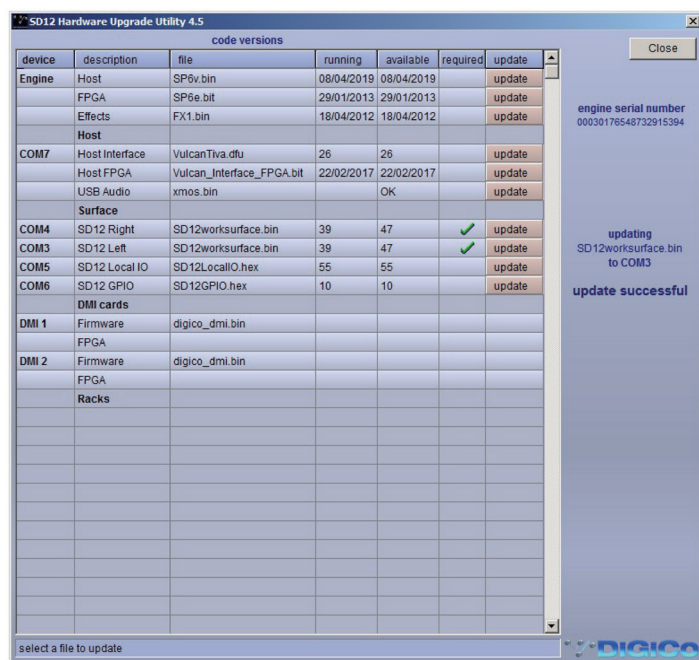
Available 列に表示されるバージョンは D:\SD12 ディレクトリ内の対応するファイルに基づいています。

コンソールのファームウェアアップデートが以下の順番で進行します。

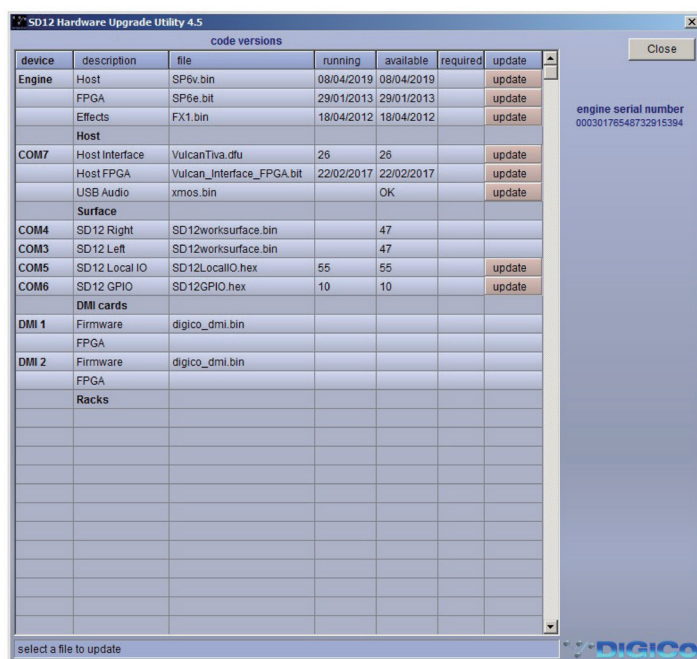
V1926 より前のバージョンからアップグレードする場合は、追加のアップデートが必要な場合があります。

V1069 以前のバージョンから更新する際は、SD12 Worksurface アップグレードの作業として下記の項目も変更する必要があります。V1090 からアップデートを更新する場合、既にこれらの項目に関するアップデートは実行済みです。

Left / Right の量 Surface がアップデート済みの場合、アップデートウィンドウ画面は下図のように表示されます。アップデートが必要な項目が 2 点ありますが、これはボーレート (Baud rate) の変更に関するプロセス (下記参照) がまだ完了していないために表示されるものです。次の手順をご覧ください。

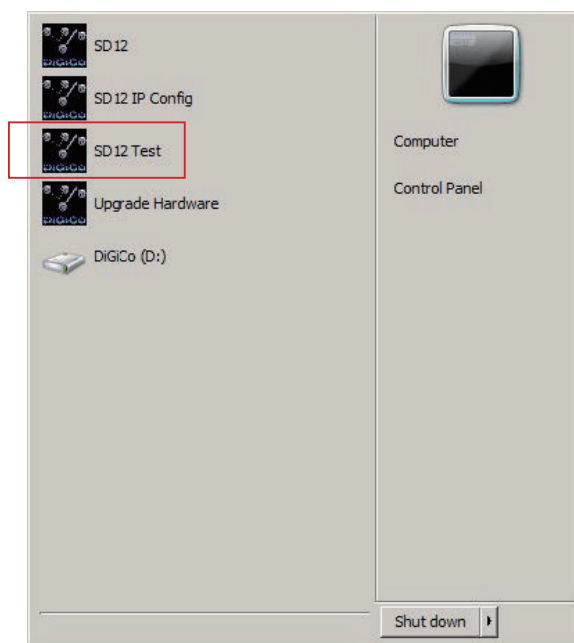


Hardware Upgrade Utility アプリケーションを閉じてからもう一度開くと、アプリケーションウィンドウは下図のように、worksurface の” Running” コードが表示されていない状態で立ち上がります。ここまでを確認したら次の手順に進みます。



以上までが完了したら、UpdateHardware プログラムを閉じて、USB キーをコンソールから取り外します。

4. Windows のスタートバーから SD12 Test アプリケーションを立ち上げます。



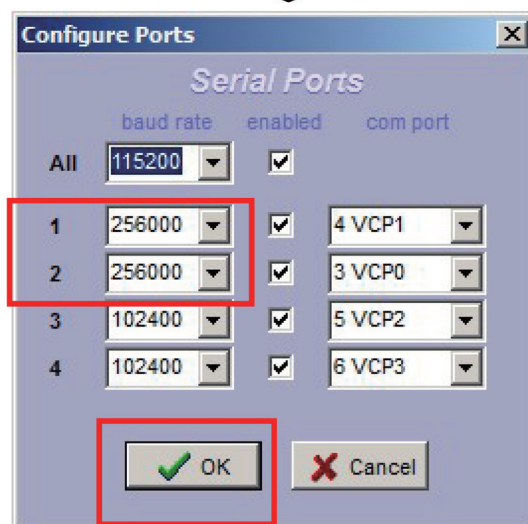
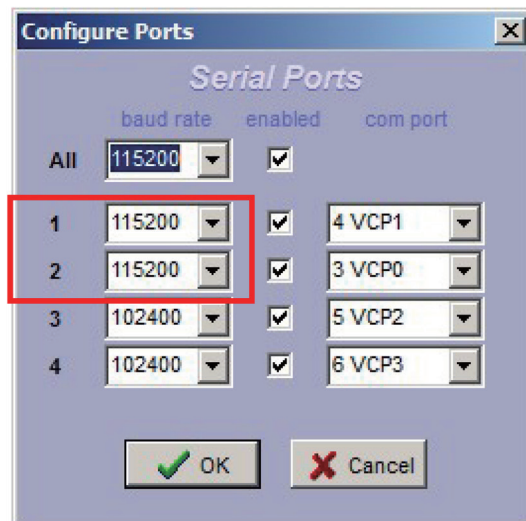
下図は SD12 Test アプリケーションのイメージになります。

5. SD12Test アプリケーションウィンドウの右上にある「Configure Ports」をクリックします。



Configure Ports パネルが開きます。

6. ボーレート、または、Ports 1 と 2 が 115200 で設定されていますので、該当するテキストボックスで 256000 と打ち込み、パネル下部の OK ボタンを押して設定を変更します。



7. SD12Test プログラムを閉じます。

8. スタートメニューから、コンソールをシャットダウンして電源を落とします。

9. コンソールの電源を入れます。コンソールが SD12 アプリケーションを直接立ち上げます。

コンソールが立ち上がったら、Diagnostics パネルですべてのコンポーネントが正しくアップデートされていることを確認します。Diagnostics ページは System メニューのタブ内から選択して開くことができます。

最初のタブ (Console) には Worksurfaces、Local IO 及び GPIO のバージョンが表示されます。

その隣のタブ (Engine) には Engine コードが表示されます。Engine Host、Effects、FPGA コード及びダウンロードに表示される日付が本資料の最初のページに掲載してあるリストと一致していることを確認してください。

以上の手順を実行しても SD12 を正常にアップグレードできない場合は、ヒビノインターサウンド株式会社へご連絡ください。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。